

2024年度

第43回

中部IE大会

CHUBU INDUSTRIAL ENGINEERING ASSOCIATION



変わる!挑む!

～本気の挑戦が彩るモノづくりの未来～

1日目

11月7日(木) 9:00～17:45

講演・分科会

名古屋国際会議場 / オンライン

2日目

11月8日(金)

現場研修会

11コース(オンライン開催を含む)

IE 中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会

変わる！ 挑む！

～本気の挑戦が彩るモノづくりの未来～

新型コロナウイルス感染拡大収束以降も、地政学リスクや世界経済状況など予測困難な時代が続く中、我々が持続可能な企業経営を続けるためには、今まで改善活動で築き上げてきたムダのない現場に磨きをかけ続けるとともに、サプライチェーンの強靱化、カーボンニュートラル対応、デジタル技術の活用、新たな価値創造など、スピード感をもって取り組まなければなりません。そしてそれらを実現するのは人であります。

そこで今年度の中部IE大会は、「変わる!挑む!」～本気の挑戦が彩るモノづくりの未来～をテーマに開催いたします。講演、分科会(事例紹介)、現場研修会を通して一人ひとりが現状に留まることなく、自らを変革するきっかけとなる場とします。

1日目 11月7日(木) 9:00～13:00 **講演**

会場：名古屋国際会議場

9:00～9:05
《挨拶》

中部IE大会 大会会長

中部IE協会 会長 須藤 誠一
トヨタ自動車(株) 元副社長

9:05～9:10
《挨拶》

中部IE大会 大会実行委員長

中部IE協会 常任理事 大川 博正
(株) アイシン Chief Production Reformation Officer
グループ生産本部長執行役員

9:15～10:25
《基調講演》

「国産半導体再興：Rapidusの挑戦」 ～時間は未来から流れる～



Rapidus(株) 取締役 専務執行役員・3Dアセンブリ本部長 折井 靖光 氏

かつて5割だった日本の半導体生産の世界シェアは現在1割程度。その復権を担うのが、2022年にトヨタ自動車様、デンソー様をはじめとした大手企業8社を中心に出資設立された「Rapidus」です。RapidusはIBMの技術をもとに、世界で誰も到達していない回路線幅2ナノの次世代半導体、2ナノ次世代半導体のパフォーマンスを更に向上させる次世代『チップレットパッケージ』の量産に向け、研究・技術開発に取り組んでいます。本講演では、Rapidusの挑戦と、私たちの生活をより豊かにする半導体の未来についてご紹介します。かつての半導体王国日本の栄光を取り戻すために、今、新たな一歩を踏み出しています。

10:40～11:50
《特別講演》

「だから成功体験を後輩たちに残したい」 ～初代N-BOXを創った男がF1で闘った理由～



写真：樋口涼

元・ホンダレーシング F1パワーユニット責任者 浅木 泰昭 氏

浅木氏は1981年にホンダに入社し、第2期ホンダF1でエンジン開発を担当。その後、初代オデッセイ、アコードなどのエンジン開発に携わり、大ヒット軽自動車N-BOXを開発責任者として世に送り出しました。2018年が定年退職のところ、当時ホンダのF1活動がどん底の状態で若手エンジニアが苦しむ姿を目にし、2017年に第4期ホンダF1に復帰。2019年にはレッドブルと組んで復帰後初優勝するなど成績を残し、2021年の撤退前の最終戦までパワーユニット開発の陣頭指揮を執りました。本講演では、それら経験談をもとにチームを勝利に導く人づくりとリーダーの役割、また飽くなき技術への挑戦と情熱について伺います。

11:50～13:00

昼食・休憩

総合司会 小島プレス工業(株)

生産企画部部长 橋本直樹

会場：名古屋国際会議場

第1会場

第2会場

13:00
▼
14:00

「成長する工場づくり
フタバ産業ものづくりの変革」
～たゆまぬ改善、生産工場のDとX～

「皆で運ぶ、物流の未来」
～NEXT Logistics Japanの挑戦～

モノづくり



フタバ産業(株)
DX推進室 主査
真鍋剛大氏



NEXT Logistics Japan(株)
代表取締役社長CEO
梅村幸生氏

- ①今までのものづくり
- ②変革への取り組み
- ③成長する工場とは、今後の戦略

- ①幅広い荷主企業や物流事業者とともに、持続可能な物流の実現を目指す
- ②異業種の荷物を混載×ダブル連結トラックの運用
- ③世界初、量子コンピュータを活用した物流最適化ソリューションシステム『NeLOSS(ネロス)』

14:15
▼
15:15

「BtoB企業のエリア営業部門で行う
新産業創出とは」
～オープンイノベーションで未来をTOPPA!!!～

「"思いを込めて、あしたをつくる"
異業種への挑戦!」
～未来の畜産を支える!CAPSULE SENSE(カプセルセンス)の開発～

価値づくり



TOPPAN(株)
九州事業部 第三営業本部 第三部
石本康久氏



太平洋工業(株)
新規事業推進部 センシングデバイス開発2G 課長
栗本優氏

- ①なぜBtoB企業の営業が新産業創出しているのか?
- ②地場企業共創型オープンイノベーションプログラム「co-necto」の取り組み
- ③地域特化型オープンイノベーションコンソーシアム「シンケツゴー!フクオカ」の取り組み

- ①新規事業開発の取り組み(Ωプロジェクトの発足)
- ②畜産業界(牛)の動向とそこから見てきた課題
- ③牛・人そして地球に優しい畜産の未来を目指して

15:30
▼
16:30

「ソフトウェア人財の
リスキリング戦略と育成状況」
～リスキリングの現状成果と今後の取り組み～

「自主性あふれる
職場を醸成する好循環」
～社員が定着する本当の働きがい～

人づくり
心づくり



愛三工業(株)
電動システム開発本部本部長
福森英夫氏



筒井工業(株)
代表取締役社長
前島靖浩氏

- ①課題対策と社内関係者との事前準備
- ②愛三流リスキリングの実施内容紹介
- ③今後に向けた更なる育成加速について

- ①すべての土台となる社員との信頼関係
- ②社員が定着する取り組み
- ③自主性により"自走"する職場

16:45
▼
17:45

「人類は核融合で進化する」
～世界初の定常核融合炉の実現を目指して～

「宇宙ベンチャーispace
今季冬に月面着陸へ再挑戦」
～初挑戦からの学びを活かしミッション成功を目指す～

夢づくり



(株)Helical Fusion
共同創業者 取締役
後藤拓也氏



(株)ispace
CTO
氏家亮氏

- ①今、核融合発電を目指す理由
- ②ヘリカル型核融合炉とは、その優位性
- ③世界初の定常核融合炉開発に向けたロードマップ

- ①ミッション1(前回)で取得したデータをどのように活用し、ミッション2に挑むのか
- ②クルーと呼ばれる従業員をどのように鼓舞し、今日までどう歩みを続けたか

コーディネーター

(株)デンソー
生産調査部部長 関本洋

(株)豊田自動織機
理事生産管理部部長 小野和彦

トヨタ自動車(株)
TPS本部生産調査部主査 溝江真二

ブラザー工業(株)
マシナリー事業技術部部長 日下部宏樹

A
コース

(株)アイシン 城山工場 (愛知県西尾市)

[マニュアルトランスミッション、トランスファー]

13:30
▼
16:30

「多品種・多様性を追求した変化点に強いモノづくり」

～世界中のお客様へMTを届け続ける工場～

(株) アイシン

城山工場工場長 林 秀俊氏

- ①城山工場におけるモノづくりの特徴および強み
- ②多様性を活かせる、工場・工程づくり
- ③手の内化の追求による工場自立化への取り組み

コーディネーター フタバ産業 (株)

生産本部グローバル生産支援部部長 下島利勝

B
コース

核融合科学研究所 (岐阜県土岐市) [高温プラズマ制御・計測研究、低温・超電導技術、先端材料研究、解析・シミュレーション]

13:00
▼
16:00

「カーボンニュートラルの切り札：核融合研究の最前線」

核融合科学研究所

産学官連携部門・部門長教授 安原 亮氏

- ①先端の核融合研究について学術分野から最前線を紹介
- ②核融合の大型研究施設を体験

コーディネーター 日本ガイシ (株)

デジタル変革推進部長 齊藤隆雄

C
コース

岐阜プラスチック工業(株) 生産本部 (岐阜県各務原市) [再生樹脂パレット、テクセル(セイント)、パーツボックス(リサイクルTPコンテナ)]

13:30
▼
16:30

「脈々と受け継がれる挑戦のDNA」

～プラスチックの無限の可能性をカタチに!～

岐阜プラスチック工業(株)

生産本部本部長 永田順也氏

- ①再生パレット技術の追求
- ②素材事業への挑戦
- ③お客様のニーズに応える環境技術の取り組み

コーディネーター 太平洋工業 (株)

生産企画センター生産調査室参事 園部一人

D
コース

(株)ジェイテクト 亀山工場 (三重県亀山市) [自動車産業機械用ボールベアリング、自動車用HUBユニットベアリング]

13:30
▼
16:30

「仕入先様まで考慮した全工程活動による安定した生産と供給」

～暗黙「値」から形式「値」化したフレキシブルな生産計画の策定～

(株) ジェイテクト

亀山工場工場長 橋和田 義隆氏

- ①仕入先様 生産ラインへのフレを抑制した生産計画
- ②仕入先様の納入リードタイム安定確保と短縮
- ③生産性向上と標準作業(タイプⅢ)

コーディネーター (株) アイシン

生産・物流改革部TPS推進室室長 笠原 勝

E
コース

セラミックセンサ(株) 小牧工場 (愛知県小牧市) [酸素センサ・全領域空燃比センサ、Noxセンサ、排気温度センサ]

13:30
▼
16:30

「変動対応力を強化するモノづくり」

～ピークアウトを迎える次の次の10年においても会社を支え続ける仕組みづくり～

セラミックセンサ (株)

製造本部第3製造部部長 魚住卓司氏

- ①滞留時間の最小化による、工程在庫・製造LTの削減
- ②システム連携により可視化されたデータを活用した、設備稼働率の向上
- ③システム共通化による予備品在庫の見える化と在庫管理の適正化

コーディネーター イビデン (株)

電子事業本部生産統括部副統括部長 郡 剛

F
コース

大同特殊鋼(株) 星崎工場 (愛知県名古屋市) [Ni・Crステンレス 棒鋼・線材、チタン・高合金 棒鋼・線材、工具鋼 棒鋼・平角]

13:30
▼
16:30

「経営に貢献する『モノづくり』」

～棚卸資産圧縮活動と働き方改革への挑戦～

大同特殊鋼 (株)

生産本部星崎工場副工場長 竹下弘秋氏

- ①異常率低減によるリードタイム短縮への取り組み
- ②難加工品(チタン)のプロセス改善
- ③製造現場 主導による働き方改革活動

コーディネーター ヤマザキマザック (株)

生産統括本部生産技術部部長 田口隆直

G
コース
13:30
▼
16:30

中央精機(株) 本社・本社事業所 (愛知県安城市) [アルミホイール・スチールホイール、タイヤ組付、LPGタンク]

「工場排熱を利用した熱音響冷却システム」 ～CN対応の最先端技術～

中央精機(株)

新事業推進P理事 深谷典之氏

- ①最新鋭ホイール生産工場の見学
- ②熱音響開発の経緯と開発状況
- ③熱音響実証実験の見学

コーディネーター

豊田合成(株)

生産調査部生産調査室室長 中正司

H
コース
14:00
▼
16:00

(株)デンソー 西尾製作所 **オンライン開催** [インバータ冷却器]

「世代を超えて変動に追従できる生産システムの構築」 ～働き方の革新による変化に強い盤石な現場への磨き上げ～

(株)デンソー

生産調査部生産調査室課長 ダルマダーサ ナラカ聖弥氏

- ①売れるペース(タクトタイム)に基づく仕事の基準・標準づくり
- ②デジタルツール活用で見えにくいムダの排除による“正しい仕事”の追求
- ③製品世代毎に進化させてきた少人数化ライン

コーディネーター

トヨタ車体(株)

TPS推進部部长 稲垣隆

I
コース
13:00
▼
17:00

トヨタ自動車(株) 田原工場 (愛知県田原市) [完成車検査工程(レクサスブランドLS・IS・NX・RC・LM)]

「レクサス検査リードタイム短縮活動」 ～お客様の笑顔のために 確かな品質とともに～

トヨタ自動車(株)

田原工場品質管理部第2検査課課長 増尾安弘氏

- ①良いものをタイムリーにお届けする! 正味作業にこだわったリードタイム短縮
- ②基準リードタイムの短縮: 検査項目の改廃、作業改善と検査時間の適正化
- ③滞留時間ばらつきを低減: 手直し下車の低減、手直し時間の短縮
- ④TPSとデジタルの融合: 手直し下車の滞留の改善

コーディネーター

トヨタ紡織(株)

生産調査部工場TPS推進室グループ長 久保伸一

J
コース
13:30
▼
16:30

(株)豊田自動織機 東知多工場 (愛知県半田市) [GD型エンジン(ランドクルーザー250、ランドクルーザー70、ハイエース向け) F33A型エンジン(ランドクルーザー300向け)]

「モノづくりの現場は、改善・改革実践の見本市」 ～仕入先様の改善活動を加速させるヒントに～

(株)豊田自動織機

エンジン事業部ものづくり改革室主査 渡辺雅宏氏

- ①仕入先様への生産性向上・品質向上活動へのアプローチ(ものづくり改革室の紹介)
- ②生産性向上、重筋作業軽減のための「カラクリ」導入
- ③生産ラインでの徹底した整理整頓へのこだわり

コーディネーター

大同メタル工業(株)

常務執行役員第5カンパニープレジデント兼風車技術研究所長 平松伸隆

K
コース
10:00
▼
12:00

日進工業(株) 武豊工場 **オンライン開催** [自動車向け小型精密樹脂部品]

「身の丈IoTで実現したスマート工場」 ～究極の「見える化」工場を目指して～

日進工業(株)

代表取締役 長田和徳氏

- ①リアルタイムで設備稼働状況の見える化の実現
- ②スマートデバイスを活用したペーパーレスの実現
- ③IoTシステム導入による設備稼働率93%の実現

コーディネーター

大同特殊鋼(株)

技術企画部長 本庄則夫

現場研究会
参加にあたっての
お願い事項

1. 集合場所・時間・スケジュール・持ち物(安全具)については、参加コース確定後、メールのご案内となります。HおよびKコース視聴のご案内は、10/31(木)にお申込みのメールアドレスにご連絡いたします。
2. 各コースに定員を設けております。
3. 同業他社の参加はお断りする場合があります。
4. マイカーでの来場はご遠慮願います。
5. **ご来場の際は、名刺を1枚お持ちください。**

2024年度 第43回中部IE大会組織

順不同、敬称略

●大会会長	トヨタ自動車(株)	元副社長	須藤 誠一
●大会副会長	大同特殊鋼(株)	常務執行役員	杉江 郁夫
	大同メタル工業(株)	代表取締役社長兼C O O	古川 智充
	(株)デンソー	経営役員	海老原 次郎
	トヨタ自動車(株)	Executive Fellow	河合 満
	日本特殊陶業(株)	代表取締役副社長	松井 徹
●大会実行委員長	(株)アイシン	Chief Production Reformation Officer グループ生産本部長執行役員	大川 博正

●大会委員

(株)青山製作所	専務取締役	青山 五郎	トヨタ自動車(株)	TPS本部本部長	尾上 恭吾
(株)アドヴィックス	取締役副社長 執行役員	神谷 誠	(株)豊田自動織機	経営役員	枘岡 一成
(株)イノアックコーポレーション	代表取締役社長	野村 泰	トヨタ車体(株)	執行役員	小山 憲一
(株)ジェイテクト	経営役員生産本部長 カーボンユートラル戦略室統括	新家 俊明	トヨタ紡織(株)	取締役執行役員	五百木 広志
新東工業(株)	執行役員 ものづくり本部副部長	立松 孝之	日本ガイシ(株)	常務執行役員 製造技術本部長	宮嶋 敦
住友電装(株)	執行役員生産技術本部副部長 ハーネス生産本部副部長	後藤 幸一郎	日本特殊陶業(株)	プラットフォーム開発センター センター長	有見 真午
大同特殊鋼(株)	執行役員CQM部長	岸 幹根	ノリタケ(株)	執行役員待遇 生産技術センター長	清水 英孝
太平洋工業(株)	代表取締役会長	小川 信也	(株)不二越	製造統括本部参与	宮袋 政久
大豊工業(株)	執行役員	成田 洋	フタバ産業(株)	生産本部本部長	川淵 建夫
中央発條(株)	執行役員製造(本社、碧南、三好、藤岡工場)機能本部長	宮田 征典	ブラザー工業(株)	執行役員マンナリー事業 産業機器事業担当	寺倉 達雄
(株)デンソー	生産革新センター 統括部長	松永 泰明	三菱電機(株)	執行役員FASシステム事業本部 副事業本部長兼名古屋製作所長	田中 貴久
(株)東海理化	生産統括本部長	山田 英士	ヤマザキマザック(株)	取締役副会長	清水 紀彦
豊田合成(株)	取締役副社長・ C O O ・ C M O	安田 洋			

●大会実行委員

(株)アイシン	生産・物流改革部 TPS推進室室長	笠原 勝	トヨタ自動車(株)	TPS本部 生産調査部主査	清江 真二
イビデン(株)	電子事業本部生産統括部 副統括部長	郡 剛	(株)豊田自動織機	生産管理部部长	小野 和彦
小島プレス工業(株)	生産企画部部长	橋本 直樹	トヨタ車体(株)	TPS推進部部长	稲垣 隆
(株)ジェイテクト	生産調査部 第2改革推進室室長	藤富 俊幸	トヨタ紡織(株)	生産調査部工場 TPS推進室グループ長	久保 伸一
新東工業(株)	事業推進本部システム事業 グループマネージャー	坂田 大輔	日本ガイシ(株)	デジタル変革 推進部長	齊藤 隆雄
住友電装(株)	生産技術本部新領域 ものづくり統括部技術教育主幹	乾谷 和己	日本特殊陶業(株)	ビジネスイノベーション本部 生産技術部部长	武田 茂裕
大同特殊鋼(株)	技術企画部部长	本庄 則夫	フタバ産業(株)	生産本部グローバル 生産支援部部长	下島 利勝
大同メタル工業(株)	常務執行役員ガリニフ/リチウム 兼風車技術研究所長	平松 伸隆	ブラザー工業(株)	マンナリー事業技術部 部長	日下部 宏樹
太平洋工業(株)	生産企画センター 生産調査室参事	園部 一人	三菱電機(株)名古屋製作所	生産システム推進部 生産企画課長	鷲津 人司
(株)デンソー	生産調査部部长	関本 洋	ヤマザキマザック(株)	生産統括本部長 生産技術部部长	田口 隆直
(株)東海理化	生産管理部部长	久野 剛司	リンナイ(株)	生産本部生産管理部 部長	江口 昌吾
豊田合成(株)	生産調査部 生産調査室室長	中正 司			

中部インダストリアル・エンジニアリング協会とは

中部IE協会は、1959年の設立以来、中部産業界における経営力の向上、ならびに生産性向上に寄与することを目的に活動しており、IEに関する「産」・「学」一体による人材育成活動、企業訪問を中心とした研究部会活動、実務にすぐに役立つ専門情報提供活動、グローバルマネジメントを調査研究するため海外生産拠点を訪問する海外視察団活動などを通して、IEの普及、啓蒙、推進を展開する任意団体です。

事業内容 インダストリアル・エンジニアリングに関する

- ・調査研究
- ・実践的セミナー、研究部会等の開催
- ・経験交流ならびに普及啓発
- ・資料の収集及び提供
- ・刊行物の発行頒布
- ・関係諸機関との協調

入会の
特典として

- 1) 各研究部会、講座、セミナー、視察会への割引参加(会員価格)
 - 2) 「IE通常総会・記念講演会」「IE情報会員講座」「海外視察団報告会」への無料参加
 - 3) 入会当年度に限り一部のセミナーへの無料参加、又はIEベーシックコースへの割引参加
 - 4) 協会誌「IEレビュー」(日本インダストリアル・エンジニアリング協会 年4回発行)の無料購読
 - 5) 企業コンサルティング、企業教育への講師派遣相談
- この機会に中部IE協会への入会をご検討頂けますと幸いです。(年会費1口35,000円)

開催要領

と き	2024年 11月7日(木) 【講演/分科会】 9:00～17:45 11月8日(金) 【現場研修会】 コースにより開催時間が異なります							
参加方法	<p>【1日目 講演/分科会】</p> <p>①来場参加(名古屋国際会議場) 名古屋国際会議場 〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1-1 TEL/052-683-7711</p> <p>②オンライン参加…講演のライブ配信をリアルタイムにご聴講いただけます。ネットワーク環境があれば場所を問わず参加が可能です。 ※分科会におきましては、来場およびオンライン参加のどちらでも講演者への質問が可能です。 ※ご参加の皆様は、大会終了後2週間、アーカイブ配信をご覧いただけます。(許可をいただいた講演者のみ)</p> <p>【2日目 現場研修会】</p> <p>各受入先工場での開催(HコースおよびKコースはオンライン開催です。)</p>							
対 象	経営幹部、管理監督者、IE・生産・モノづくりに関わるすべての担当者							
参加費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>申込区分</th> <th>参加費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日目のみ参加 (講演/分科会)</td> <td>33,000円</td> </tr> <tr> <td>1日目・2日目参加 (講演/分科会+現場研修会)</td> <td>36,300円</td> </tr> </tbody> </table>	申込区分	参加費	1日目のみ参加 (講演/分科会)	33,000円	1日目・2日目参加 (講演/分科会+現場研修会)	36,300円	<ul style="list-style-type: none"> 1名につき:昼食代(1日目に来場参加される方)、消費税を含みます。 来場参加・オンライン参加は同額となります。 2日目(現場研修会)のみのお申込みはお受けしておりません。
申込区分	参加費							
1日目のみ参加 (講演/分科会)	33,000円							
1日目・2日目参加 (講演/分科会+現場研修会)	36,300円							
お申込みに 関する 注意事項	<p>【1日目:講演/分科会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来場参加は定員制となります。お申し込み時に定員に達していた場合は、事務局よりご連絡させていただきます。 参加方法(来場参加もしくはオンライン参加)に変更がある場合は、必ず事務局までご連絡ください。 <p>【2日目:現場研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場研修会は、希望コース(A～K)を第1～3希望までご選択ください。ご参加を希望されない方は、「不参加」をご選択ください。 なお、各コース定員に達した時点で受付終了とさせていただきます。 ご参加いただけるコースが確定しましたら、メールにてご連絡いたします。 同業者の方々のご参加をお断りする場合がございます。 同一企業より多数お申し込みの場合、別コースをご案内させていただく場合がございます。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 申込受付後、ご登録いただいたメールアドレスに「受付確認メール」が自動返信されます。受付確認メールの内容は必ずご確認をお願いいたします。併せて、代表申込者(各申込の1番目の方)宛に請求書を送付いたします。 参加費は、請求書に記載の期日までに指定の銀行口座へお振込み願います。振込手数料は、お客様にてご負担ください。 今年度から参加証の郵送を取りやめ、メールにて受付用QRコードをご送付させていただきます。ご了承ください。 11月1日(金)以降のキャンセルは、参加費を返金いたしかねますので、代理の方をご派遣願います。 また、当日欠席の場合も同様の扱いとさせていただきます。 							
ご参加に伴う 注意事項	<p>下記事項をご確認、同意の上、お申込みをお願いいたします。</p> <p>【ご参加に伴う注意事項、来場参加・オンライン参加について】</p> <p>講演の録画、録音、配布資料記載事項の無断転載、オンライン参加の場合は画面撮影、画面キャプチャー、SNSなどへの掲載を固くお断りいたします。 その様な行為が発覚いたしました場合、事務局より削除を要請し、損害賠償を請求させていただきます。</p> <p>【講演/分科会に来場参加の方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度から、入場にはQRコード(ご案内メールから入手)が必要です。印刷物か、QRコードを提示可能な端末をご用意ください。 分科会の会場の移動は自由ですが、荷物を置いての移動はご遠慮ください。 <p>【講演/分科会および現場研修会HもしくはKコースにオンライン参加の方】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①視聴に必要なID・パスワード等はお申し込みいただいたご本人様(または代理で視聴される方)のみ有効です。第三者への転送はご遠慮ください。 ②当方に起因しないシステムトラブルにより画像・音声に乱れが生じた場合については、再送信や返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。(必ず視聴確認ページでの視聴の上、お申し込み願います。) ③ ご視聴は1申込みにつき1名様でお願いいたします。 社内のネットワーク負荷軽減のため、会議室で投影し複数名で視聴することも可能ですが、その際は視聴人数分のお申し込みをお願いいたします。 ④オンライン参加に伴い発生する通信料はお客様負担となります。 ⑤本注意事項については、代理参加となった場合は、代理参加者に自動的に適用されます。 <p>【現場研修会にご参加の方】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①当日の集合時間・場所・ドレスコード(安全具含む)等の詳細については、参加コース確定後メールにてご連絡いたします。 ② 当日は、名刺をお持ちの上、指定のドレスコード(安全具の持参を含む)にてご参加ください。 							
申込締切日	2024年 10月31日(木) 17:00							

